

ワークショップ通信 VOL4

第4回会議 2023.12.15 @鉢形財産区会館

第4回ワークショップ会議では、これまでの検討を踏まえ班ごとの最終案の決定及び、発表資料の作成をおこないました。

これまでの会議では、児童生徒数の減少や、施設の老朽化等の課題に対する対応策について検討を重ねてまいりました。

- 対応策案1 既存小学校を改修して利用し続ける
- 対応策案2 2つの小学校を集約化し、城南中学校敷地内に新校舎を建設する
- 対応策案3 既存小学校1校を改修し、集約化する
- 対応策案4 その他

それぞれの対応策での、メリット・デメリット等を踏まえ、真剣な議論が交わされました!!



将来の学校施設のあり方において、『目指す将来像』や『基本理念』『最も重視すること』を**キャッチフレーズ**として定め、最終案を決定しました!!

各班の熱い思いが込められたキャッチフレーズがこちら ↓ ↓ ↓

素晴らしい教育環境

のために…

～小中一貫教育を通じて～

楽しい
未来を
目指して

充実を
目指
して
教育活動の

笑顔あふれる

みんなでいっしょに

多様な学び

出来る！友達100人

子供達の魅力ある
学校作り

INSPIRE the CHILDREN

各班の**最終決定案**は、次号ワークショップ通信VOL.5を乞うご期待!!

最終回となる第5回ワークショップ会議は、話合いの成果をご覧いただくため、ワークショップ参加者関係団体の皆さまを招待し、とりまとめた意見を発表する、パブリックミーティングを開催いたします!!

ワークショップ情報館

ここでは、ワークショップ会議において、重要となる内容について解説いたします!!
今回のテーマは『**中一ギャップ**』についてです。

中一ギャップとは…

児童が、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等が増加したりする状況を「中一ギャップ」と言います。

こんなに**違う!!**小学校と中学校

学習面

小学校は担任の先生が基本となる授業を受け持ちますが、中学生では科目ごとに先生が変わります。また、授業の難易度も上がり、定期テストも始まります。

生活面

中学校は複数の小学校から生徒が集まるため、新たな人間関係の構築が必要となります。また、部活動では、小学生ではほとんどない「先輩・後輩」の関係など縦のつながりも生じてきます。

こうした状況に対して、小・中学校が互いに情報交換、交流することを通じ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す取組み(小中連携)や、義務教育9年間を見通した教育(小中一貫教育)等が推進されており、寄居町では、一部の教科で中学校教員が小学校に出向き、授業を行う「乗り入れ授業」などを実施しております。